

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科：芸術 科目：音楽Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（教育芸術社「MOUSA1」、教育芸術社「The Basics of Music」、教育出版「Music Naviga」）

教科 芸術 の目標：芸術の幅広い活動を通して、音楽における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養

科目 音楽Ⅰ の目標：音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫す	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	記 時 数		
		歌	器	創								
◎オリエンテーション 音楽Ⅰを選じた理由を再確認するとともに、音楽Ⅰで一緒に学ぶ音楽活動する仲間のこと互いに知る。 これまでの音楽経験や自身の音楽との関わりを振り返り、共有する。 これから年間を通してどのような音楽を学ぶのか、音楽には	・指導事項 B鑑賞 (1) 鑑賞ア(イ)(ウイ)(イ)(ウ) ・教材 「MOUSA1」、 「The Basics of Music」、 「Music Navigation」				○	・様々な音楽に対して興味関心をもって理解しようとしている ・年間を通した学習に対して理解しようとしている ・自己と音楽との関わりに対峙し、自身のこれまで関わってきた音楽や自身の関心のある音楽について理解し、思考・整理している ・主体的に取り組んでいる			○	○	1	
◎斉唱 校歌 校歌の歌唱活動を通して、良い発声や良い音程で歌うこと、曲全体の構成を考えて音楽の流れをつくって表現することを学習する。 写譜を通して、楽譜の書き方を身に付けるとともに、校歌の旋律や ・実技テスト	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(ア) ・教材 楽譜、「The Basics of Music」、 ピアノ	○				・読譜、歌唱を通して、楽典の基本的な知識を理解している ・良い発声で歌唱することができる ・日本語の発音を意識して歌唱しようとしている ・曲の構成を理解して、音楽を運びながら歌唱しようとしている ・正しい音程やリズムで歌唱することができる ・他者の歌唱やピアノとテンポ感を共有して歌唱することができる			○	○	○	4
◎リズム・ソルフェージュ ◎楽典 基礎的・基礎的なリズム打ちを行う力を定着させる。リズムを組み合わせてコール&レスポンスを行ったりカノンを行ったりしながら他者とテンポやリズムを共有する力を身に付ける。 ・実技テスト	・指導事項 A表現 (2) 器楽アイ(ウ) ・教材 「The Basics of Music」		○			・楽譜に記されたリズムを理解している ・楽譜を見て正しいリズムで発音したり手を打ったりすることができる ・他者とテンポを共有してリズムを打つことができる ・コール&レスポンスやカノンを行いながらリズムアンサンブルをたのしむことができる			○	○	○	3
◎ソルフェージュ ◎楽典 中学までに学習した基礎的な楽典について復習し、音部記号の意味、音符の長さの関係、各言語による音名を理解する。 五線譜（ト音譜表、ヘ音譜表）に慣れ親しみ、年間を通して読譜力を身に付ける。 ・実技テスト	・指導事項 A表現 (2) 器楽アイ(ウ) ・教材 「The Basics of Music」、楽譜、 ピアノ		○	○		・ト音譜表やヘ音譜表を理解している ・ト音譜表やヘ音譜表を読むことができる ・音符の長さや関係を理解している ・正しい音程で歌いながら、リズム打ちすることができる			○	○	○	3
◎重唱 我が国の歌い継がれてきた季節の歌に慣れ親しむ。他のパートとの重なりや役割、リズムを感じながら、豊かな発声で重唱をたのしむ。 各声部の役割やハーモニー、音楽の変化を感じながら合唱をたのしむ。	・指導事項 A表現 (1) 歌唱アイ(ア) ・教材 「MOUSA1」、楽譜、ピアノ	○				・歌詞や音楽が表現している内容をイメージして歌唱しようとしている ・自己のイメージしたことを表現することができる ・他のパートとのハーモニーを聴きながら歌唱することができる ・各パートの役割を理解して歌唱することができる ・他のパートやピアノとつくり出す音楽を味わって表現しようとしている			○	○	○	2
◎創作 与えられた作品のリズムを切り貼りして重ね、オリジナルリズムも加え、リズムと形式等、創意工夫をこらしてグループでリズム創作・発表を行う。 ・グループ発表	・指導事項 A表現 (3) 創作アイウ(ア) B鑑賞 (1) 鑑賞ア(ア)(イ)(ウ) ・教材 「The Basics of Music」		○	○		・リズムの素材を連ねたり重ねたりした時の効果をイメージして表現しようとしている ・他者とリズムやテンポ感、イメージを共有しながら協働して作品をつくり表現しようとしている ・反復、変化、対照等の手法を効果的に使って構成を考えて創作している			○	○	○	2
◎音楽史 作曲家や作品、各国の楽器や音楽文化等について、音楽史における位置や関係性を理解する。	・指導事項 B鑑賞 ア(ア)(イ)(ウ)(イ)(ウ) ・教材 「MOUSA1」、 「Music Navigation」、音源				○	・作曲家やその作品、各国の楽器や音楽文化、歴史等に興味・関心もち、その関係性を理解しようとしている ・作曲家やその作品について、関係性や影響等の情報を理解し、整理することができる ・現代社会や身の回りの音楽との関係性や影響について思考し、理解することができる			○	○	○	2
◎キーボード演奏（独奏、合奏） 鍵盤楽器の演奏法の基礎を理解し	・指導事項 A表現 (2) 器楽アイ(イ)(ウ)(ア)(イ) ・教材					・鍵盤楽器の基本的な奏法を理解し、演奏することができる ・楽譜を読んで鍵盤楽器で演奏することがで						

1
学
期

